

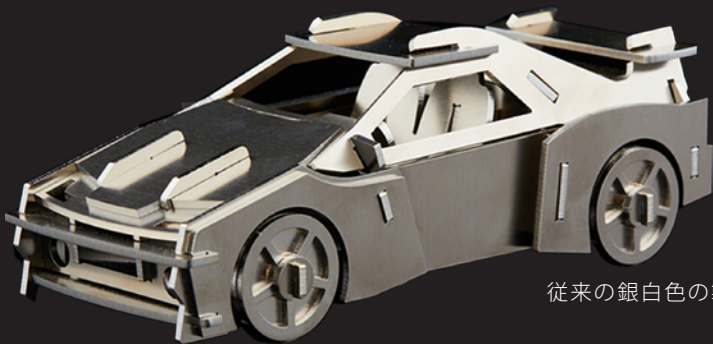
ORORU

それは、ステンレス発色の
オンリーワンテクノロジー

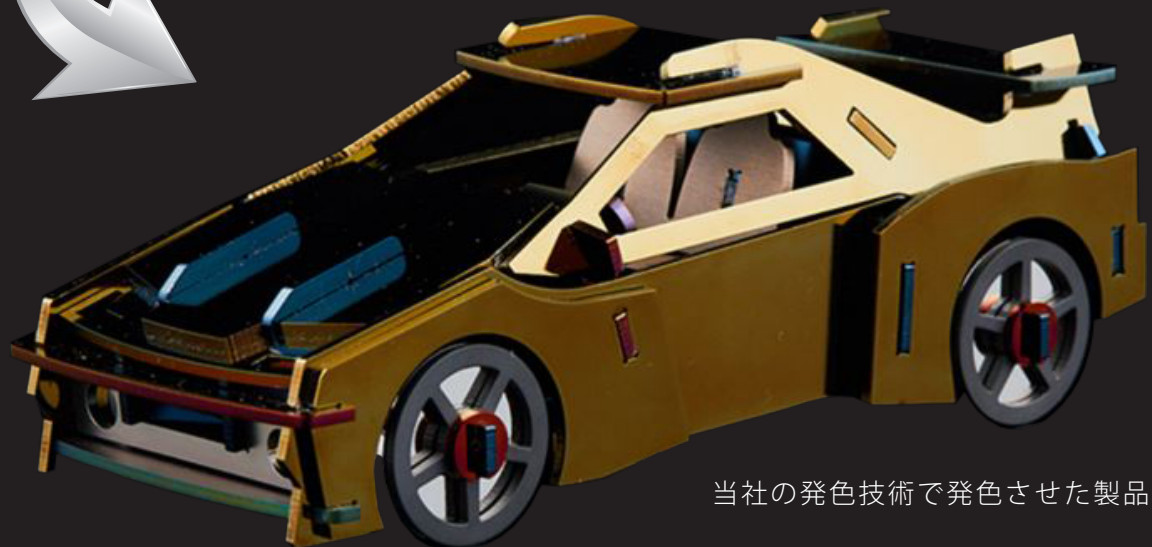
従来、ステンレス表面加工技術にはステンレス電解研磨が広く活用され、素材特性を生かしたステンレス耐食性や光沢感をより高める処理が行われています。ところが、この技術では銀白色での金属感が強く、冷たさなどがあり、製品全体のパーツとして考えた時に周囲の色調と合わないなどデザイン性に乏しくなっています。

市場にはステンレス材を塗料などで着色したものや上層に塗布するだけの商品があふれてますが、デザイン性と耐久性それぞれに優れた発色が難しく、この条件を満たすことが市場ニーズだと考えています。我々が独自開発した技術（デザイン性と耐久性に優れた）を活用すれば市場ニーズに応えることができ、新しい価値観「情緒的価値」を創造することが可能です。

当社のオンリーワン発色技術「Ororu（オロル）」こそ、市場が待ち望んだ他にない新しいサービスです。



従来の銀白色の製品



当社の発色技術で発色させた製品

ORORU

それは、ステンレス発色の
オンリーワンテクノロジー

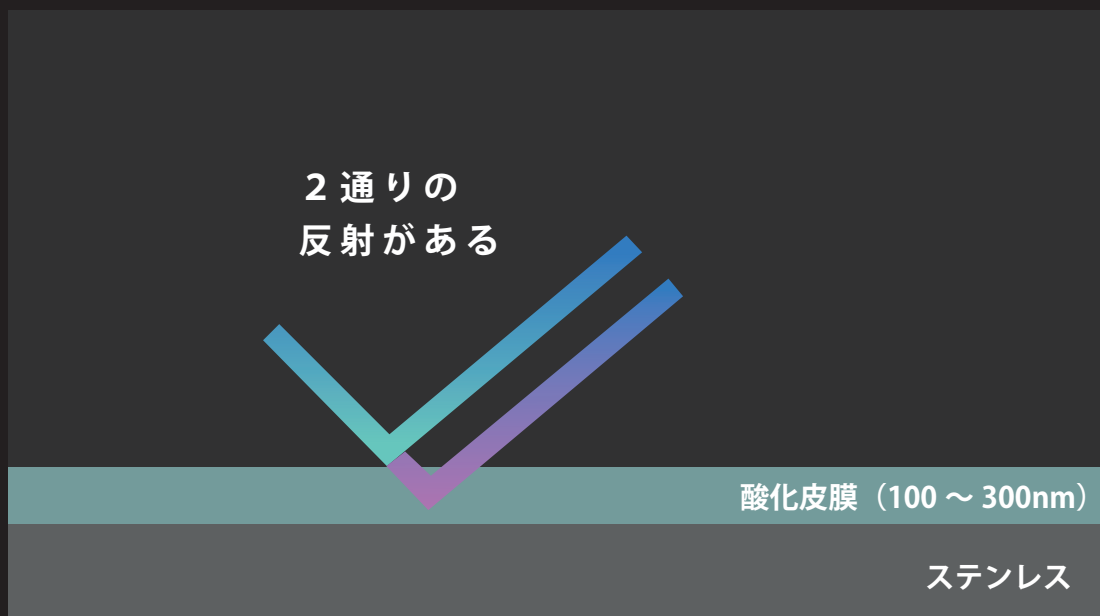
当社では、オンリーワンの発色技術を用い、従来技術では出来なかった“ロット間の色のバラツキ”が小さくなるような工業的発色技術と従来発色法による“色ムラ低減が期待できる新たな技術”を複合し確立しています。この技術を新しいサービス「Ororu（オロル）」として市場に展開しています。

この新しいサービスは、介護機器・医療機器・自動車産業・金属加工各メーカーを主体に、機械部品メーカー、作業工具メーカー、厨房機器メーカー、住宅エクステリアメーカー及び娯楽用機械メーカーなどあらゆる業界でご利用いただくことが可能です。使用されるステンレス用品・部品は、色調・デザイン性が向上し、経年的使用による錆等の劣化が減少するメリットがあります。

また、当社ではNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の『中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業』でステンレスを発色させる技術に挑戦。従来技術ではできなかった色ムラやロット間の色のバラツキの改善に成功し、世界で唯一の色調均一化を可能としたステンレス発色技術[※]の事業化に結び付けています。

※国際特許出願中

ステンレス表面に干渉色が見える理由



ステンレスの酸化皮膜の厚さを変化させることで、干渉色（光と透明な薄い膜）を作る技術です。SUS材上に酸化皮膜があるので、光の屈折によってCDの様に色が変わって見える、着色とは違ったステンレスの色を変える新技術です。